

(令和2年10月試験研究業務月報)

試験研究課題：宇治茶の優れた伝統技術を生かす省力化新技術の開発

研究

手摘み園（自然仕立て園）における省力防除技術の開発

宇治茶ブランドを代表する茶種である「玉露」や「てん茶」は、新芽生育期に茶樹を覆い、遮光します。中でも、手摘み園は摘み子の確保や防除作業が困難なことなどから面積は激減しています。

そこで、当所では、防除作業を効率化するため、散布ノズルを縦向きに並べ、畝間を引きながら移動させるカート式防除機の茶園での利用を検討しています。

茶園の背丈が大きくなり、害虫が増えた9月29日に慣行の噴口竿を振って防除する方法とカート式防除機を使って防除する方法で、茶園の防除をしたところ、カート式防除機を使う方法でも慣行の方法と変わりなく防除ができることがわかりました。

今後は防除者の作業強度について調査を行い、防除作業を省力できる防除機の開発を目指します。

防除器具	散布液量 (L/10a)	虫数調査による 防除率 (%)	被害調査による 被害防止率 (%)
カート式 防除機	400	89.3 効果同等	83.1
	200	83.0	71.0
慣行	400	90.1	62.1

チャノキイロアザミウマ防除の効果



カート式防除機（右下）と防除の様子